

出題分析		
試験時間 100 分 ※学部により異なる	配点 150 点 ※学部により異なる	大問数 3 題（海洋政策科学部文系科目重視型は 1 題〈古文・漢文を除く〉経営学部は 2 題〈漢文を除く〉）
分量（昨年比較）〔減少 同程度 増加〕	同程度	難易度変化（昨年比較）〔易化 同程度 難化〕
<b>【概評】</b> 〈現代文〉 問題文の分量・難易度ともに例年どおり。 〈古文〉 問題文の分量・難易度ともに例年どおり。文学史の知識を問う設問が出題された。 〈漢文〉 難易のバランスがとれた良問である。2011 年度でも同一出典が出題されている。		

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
一	現代文（評論） 中島啓勝 『ておくれの 現代社会論』  ○行数：96 行	人間にとっての死の自覚について論じた文章。問一の内容説明問題は、主語が「他の生物」であることに注意してまとめる。問三の内容説明問題は「ミステリー」という表現が示す内容をうまく説明する。問四の全文把握問題は、人間が受け入れるべき死の迎え方を説明する。 ※（昨年度）評論、95 行、5 問（5）	標準  〈問題文〉 標準 〈設問〉 標準
二	古文（平安・日記） 菅原孝標女 『更級日記』  ○行数：21 行 ○和歌 4 首を含む	作者が継母や乳母との別れを経て人の命のはかなさに思いを巡らす話。問一の現代語訳は標準。③の「世の中」は“男女の仲”であることに留意する。問三の内容説明問題は、傍線部の「いとど」という表現を踏まえる。 ※（昨年度）平安・歌論、19 行、6 問（11）	標準  〈問題文〉 標準 〈設問〉 標準
三	漢文（唐・史書） 魏徴編 『隋書』  ○行数：7 行	ある官僚が、誰に対しても厳格であった公平さを評される話。問一の書き下し問題は標準。問四の現代語訳は「寧 A、不 B」が選択形の構文であることを見抜く。問五の全文把握問題は、崔弘度が部下にも身内にも厳しかった様子を踏まえる。 ※（昨年度）前漢・史書、7 行、4 問（7）	標準  〈問題文〉 標準 〈設問〉 標準

※「行数」は問題文の行数。神戸大学の問題文は、現代文・古文は通常 57 字／行（20 行／頁）。

設問構成（設問数・形式・内容）													
大問 番号	設問数 (枝問総数※)	選択式 枝問数	記述式 枝問数	漢字	内容 説明	理由 説明	全文 把握	空欄 (脱文) 補充	主語 確認	現代 語訳	訓読 訓点	語句 文法 知識	その 他
一	5問 (5)		5	1>1	3>3		1>1						
二	5問 (10)	1	9		2>2					4>4		4>3	
三	5問 (8)		8			1>1	1>1		1>1	1>1	4>4		

※「枝問総数」は、各設問（小問）に含まれる枝問も個々に数えた場合の全設問（小問・枝問）の総数。設問形式・内容別の設問数も、これと同様の方法で算出した（ただし漢字の読み・書き取りの設問は、枝問に分かれている場合も設問単位で「1問」と数える）。

※「設問内容」の「>」の後の**太字斜体の数字**は、記述式の枝問数を示す。

合格のための学習法
<p>〈現代文〉 神戸大の現代文は、何よりも長文であることが特徴である。問われた内容を的確かつ迅速にまとめる力が試されるため、演習をくり返して読解力および記述力を養う必要がある。</p> <p>〈古文〉 問題文の内容を適切に把握し、解答を端的にまとめる力の鍛錬が必要となる。</p> <p>〈漢文〉 神戸大では例年、漢文読解の基礎事項を押さえれば高得点を獲得できる問題が出題される。日頃の対策の有無で得点に差が生じやすいので、基礎事項をしっかりと学習しておこう。</p>